

40歳と60歳を対象とした  
歯科保健アンケート調査報告書

令和2年3月

備北地域保健対策協議会

健康ひろしま21推進専門部会※（備北地域歯科保健推進会議）

※平成31年度改編



# 歯と口の健康アンケート調査の結果について

## 1 調査について

### (1) 調査の目的

健康ひろしま 21 備北圏域計画に掲げている 8020 運動（「80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保とう」という運動）の推進のため、40 歳及び 60 歳を対象に歯科保健行動、歯科医療機関とのかわり及び生活習慣と歯科口腔保健の関連性の認知度をはじめ、歯科保健に関する調査を実施した。

### (2) 調査の概要

	40 歳	60 歳
調査時期	平成 29 年度から令和元年度の 3 年間	平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間
調査対象	三次市、庄原市に住民票があり、平成 29 年度から令和元年度の 40 歳到達者の内、無作為で半数を抽出	三次市、庄原市に住民票があり、平成 26 年度から平成 28 年度の 60 歳到達者の内、無作為で半数を抽出
調査方法	郵送による紙面アンケート調査	
回収率	27.1% (399/1474 人)	52.1% (1037/1900 人)
実施主体	備北地域保健対策協議会 三次市、庄原市	

※ 比較に用いた広島県（40～49 歳，60～69 歳）のデータは、「平成 28 年度広島県歯科保健実態調査」から抜粋。

## 2 調査結果の概要

### (1) 歯磨きの状況

- ・歯磨きの状況について、40 歳と 60 歳ともに「毎日 2 回みがく」が最も高く、40 歳が 54.6%，60 歳が 48.9%，「毎日 3 回以上みがく」とあわせると、40 歳が 83.7%（県 76.4%），60 歳が 69.7%（県 73.7%）であり、40 歳は広島県より高いが、60 歳は広島県より低い。

### (2) 歯科健診の受診状況

- ・1 年間に歯科健診を受けた人は、40 歳で 56.9%（県 55.0%），60 歳で 52.9%（県 67.7%）と、40 歳では広島県より高く、60 歳では広島県より低い。

### (3) 歯石除去の状況

- ・過去 1 年間に歯石除去を受けた人は、40 歳で 52.9%（県 52.1%），60 歳で 49.1%（県 62.5%）と、40 歳は広島県とほぼ同等であるが、60 歳は広島県より低い。

### (4) 歯磨きの個人指導の状況

- ・過去 1 年間に歯磨きの個人指導を受けた人は、40 歳で 52.9%（県 28.2%），60 歳で 49.1%（県 40.4%）と、40 歳と 60 歳ともに広島県より高い。

#### (5) かかりつけ歯科医院がある人

- ・かかりつけ歯科医院がある人は40歳で78.4%（県74.4%）、60歳で86.0%（県87.6%）と、40歳は広島県より高いが、60歳は広島県より低い。

#### (6) 8020を知っている人

- ・8020を知っている人は、40歳で66.9%（県47.6%）、60歳で63.6%（県54.1%）と、40歳と60歳ともに広島県より高い。

#### (7) $\chi^2$ 乗検定を使用し、有意差があった項目

##### ① 男女別

- ・40歳及び60歳ともに、「過去1年間に歯科健診を受けた人」「歯間ブラシ等の補助器具を使用している人」「かかりつけ歯科医院がある人」等、ほとんどの項目で、女性が男性に比べて有意に高い。

##### ② 各市別

- ・40歳では、「毎日2回以上みがく人」「過去1年間に歯石除去を受けた人」「歯間ブラシ等の補助器具を使用している人」が、三次市の住民の方が庄原市の住民よりも多い。
- ・60歳では、「過去1年間に歯石除去を受けた人」が、三次市の住民の方が庄原市の住民よりも多い。

##### ③ 地域別

- ・40歳では、「毎日2回以上みがく人」「フッ素入り歯みがき粉を使用している人」が両市ともに、旧市内の方がそれ以外の地域より多い。
- ・60歳では、「過去1年間に個人指導を受けた人」「歯と口の健康週間を知っている人」が両市ともに、旧市内の方がそれ以外の地域より多い。

##### ④ 歯科健診受診者と未受診者別

- ・40歳及び60歳ともに、「毎日2回以上みがく人」「過去1年間に歯石除去を受けた人」「歯間ブラシ等の補助器具を使用している人」「かかりつけ歯科医院がある人」等の項目で、受診者が未受診者に比べて有意に高い。
- ・40歳では、「8020運動を知っている人」は、受診者が未受診者に比べて有意に高い。

##### ⑤ 歯の数別

- ・40歳では、「ゆっくりよく噛んで食事をしている人」「いい歯の週間を知っている人」は、歯が全部ある人ほど有意に高い。
- ・60歳では、「何でも噛んで食べられる人」は、歯が全部ある人ほど有意に高い。

⑥ 歯磨きの回数別

- ・40歳及び60歳ともに、「過去1年間に歯科健診を受けた人」「過去1年間に歯石除去を受けた人」「過去1年間に歯みがきの個人指導を受けた人」「歯や口の状態で気になることがある人」は、毎日2回以上みがく人ほど有意に高い。
- ・40歳では、「口をきれいに保つことが肺炎予防になると知っている人」は、毎日2回以上みがく人ほど有意に高い。
- ・60歳では、「歯が全部ある人」「何でも噛んで食べられる人」「かかりつけ歯科医院がある人」等の項目で、毎日2回以上みがく人ほど有意に高い。

3 分析結果（目的や課題に対してアンケート分析結果から言えること）

(1) 40歳

アンケート目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛りまた子育て等で多忙な世代である40歳の歯と口腔の健康への意識や行動の実態を明らかにする。</li> <li>・本調査において、意識・関心を高める契機とするとともに、今後の備北圏域の歯科保健対策の推進を図るものとする。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は、40歳で56.9%（県55.0%）と広島県よりわずかに高いが、6割弱に留まっている。引き続き、早期からの健診を促し、予防に努めていく必要がある。</li> <li>・かかりつけ歯科医院がある人は、40歳で78.4%（県74.4%）と、広島県より高く、歯科保健に対する意識が高まりつつあると考える。</li> <li>・8020を知っている人は、40歳で66.9%（県47.6%）と、広島県より高く、認知度は高くなっている。</li> <li>・定期的な歯科健診を受けるには、どのような条件があれば、受診しやすいか：無料または助成36.5%、健診項目に含める34.5%、休日健診23.4%、その他5.6%。健診の受診を妨げる要因として、経済的負担や不便さなどが考えられる。</li> </ul>

(2) 60歳

アンケート目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020運動（80歳になっても20本以上自分の歯を保とう）の推進</li> <li>・60歳は、平均寿命を考えると残り20～30年間あり、健康でおいしく食事が食べられる期間を長くすることがQOLの向上につながることから、本調査において、歯科保健や予防に関する意識、関心を高める。</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は60歳で52.9%（県67.7%）と、広島県より低い。早期からの健診を促し、予防に努めていく必要がある。</li> <li>・かかりつけ歯科医院がある人は60歳で86.0%（県87.6%）と、約9割であり、広島県とほぼ同等である。歯科保健に対する意識が高まりつつあると考える。</li> <li>・8020を知っている人は、60歳で63.6%（県54.1%）と、広島県より高く、認知度は上がってきている。8020運動の推進の成果であると考えられる。</li> <li>・定期的な歯科健診を受けるには、どのような条件があれば、受診しやすいか：無料または助成38.5%、健診項目に含める35.4%、休日健診20.4%、その他5.7%。健診の受診を妨げる要因として、経済的負担や不便さなどが考えられる。</li> </ul>

(3) 健康ひろしま 21 備北二次保健医療圏域（平成30年3月）

現状（平成30年3月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020を知っている人は、60歳で63%</li> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は53%</li> </ul> <p>出典：60歳の歯と口の健康アンケート調査（備北地域保健対策協議会）</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフケアとプロフェッショナルケアを基本とした口腔ケアの普及啓発</li> </ul>
取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020達成に向け、妊婦から高齢者までライフステージに応じた口腔保健の推進</li> <li>・節目歯科健診の受診率向上とかかりつけ歯科医師による定期健診の定着</li> </ul>

40歳と60歳の歯と口の健康アンケート調査分析結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8020を知っている人は、40歳で66.9%（県47.6%）、60歳で63.6%（県54.1%）と、40歳と60歳ともに広島県より高い。備北圏域において認知度は高くなっていると考える。</li> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は、40歳で56.9%（県55.0%）と広島県より高く、健診受診率向上の成果が出てきていると考えるが、6割弱に留まっている。60歳では、52.9%（県67.7%）と、広島県より低い。引き続き、早期からの健診を促し、予防に努めていく必要がある。</li> <li>・かかりつけ歯科医院がある人は40歳で78.4%（県74.4%）、60歳で86.0%（県87.6%）と、40歳は広島県より高く、60歳は広島県とほぼ同等である。備北圏域において、かかりつけ歯科医師による定期健診の定着の取り組み成果が出てきていると考える。</li> </ul>
---------------------------	---

(4) 三次市健康づくり推進計画（平成30年2月）（壮年期・高齢期を中心に抜粋）

現状 (平成30年2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に歯科健診受診割合：34.2%</li> <li>・糸ようじ、歯間ブラシ使用割合：42.7%</li> <li>・かかりつけ歯科医あり割合：72.5%</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性や若年層では、定期的に歯科検診を受ける人、歯間清掃用具を使用する人、口の健康維持のために心がけていることがある人の割合は低い。</li> <li>・8020運動、噛ミング30運動が十分周知されていない。</li> </ul>
取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期から高齢期まで生活習慣を見直し、適切な歯科保健行動につながるよう普及啓発  青壮年期・高齢者  歯間清掃用具の使用法の普及啓発  節目歯科健診を実施し、定期歯科受診につなげる  歯と口腔の健康が生活習慣病や介護予防にもかわり、心身の健康に影響することを啓発</li> <li>・8020運動の推進・強化</li> </ul>
40歳と60歳の歯と口の健康アンケート調査分析結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は、40歳で三次市59.1%（県55.0%）と広島県より高く、健診受診率向上の成果が出てきていると考えるが、6割弱に留まっている。60歳では、三次市54.2%（県67.7%）と、広島県より低い。引き続き、早期からの健診を促し、予防に努めていく必要がある。</li> <li>・補助用具を使用している人は、40歳で三次市61.5%（県49.5%）、60歳で三次市58.9%（県49.5%）と、ともに広島県より高い。課題である補助用具の使用に向けた普及啓発活動の成果が出てきていると考える。</li> <li>・かかりつけ歯科医院がある人は、40歳で三次市80.6%（県74.4%）、60歳で三次市86.6%（県87.6%）と、40歳は広島県より高く、60歳は広島県とほぼ同等である。普及啓発活動の成果が出てきていると考える。</li> <li>・8020を知っている人は、40歳で三次市66.7%（県47.6%）、60歳で三次市63.9%（県54.1%）と、ともに広島県より高く、三次市において、8020運動が周知されつつあることが分かったが、噛ミング30運動について知っている人は、40歳で三次市17.9%、60歳で三次市28.4%と8020運動に比べ、認知度は低い。</li> <li>・三次市では、無料の節目健診を実施しているが、「定期的な歯科健診を受けるには、どのような条件があれば、受診しやすいか」では、「無料または助成」が40歳38.9%、60歳41.9%と、もっとも多かった。よって、認知度が低いのではないかと考えられる。今後も引き続き市民への啓発が必要である。（三次市は30歳から60歳まで5歳毎、70歳。）</li> <li>・男性は、女性に比べ1年間に歯科健診を受けている人、歯間ブラシ等の補助用具の使用、かかりつけ歯科医師がある人が低い。</li> </ul>

(5) 第3次庄原市健康づくり計画（平成29年3月）（壮年期・高齢期を中心に抜粋）

<p>現状 (平成29年3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40歳で喪失歯のない人の割合：53.5%（H28度）</li> <li>・60歳で24本以上の自分の歯を持つ人の割合：40.3%（H28度）</li> <li>・80歳で20本以上の自分の歯を持つ人は28.4%（H28度）</li> <li>・歯を失った原因として歯周病と回答した人は40歳代までは1割未満であるが、50歳代からは2割以上</li> <li>・40歳以上で20本以上の歯を持つ人では、歯間ブラシやデンタルフロスの使用、定期的歯石除去、定期的受診と回答した人が19本以下よりも多い</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯間ブラシやデンタルフロスの使用、定期的に専門家にかかることの普及など、50歳代からの歯周病発症を予防するための対策が必要</li> </ul>
<p>取組み方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的歯科検診や歯石除去など歯と口の健康管理を促すとともに、検診を受けやすい環境づくり</li> <li>・一人ひとりが取り組む行動 歯を大切にすること意識を持つ 8020運動の普及啓発 歯科検診を定期的に受診し、歯石除去の必要性や適切なケア方法を学ぶ 虫歯、歯周病は早期に治療する 等</li> <li>・歯周病検診の実施</li> </ul>
<p>40歳と60歳の歯と口の健康アンケート調査分析結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に歯科健診を受けた人は、40歳で庄原市53.1%（県55.0%）、60歳で庄原市51.1%（県67.7%）と、ともに広島県より低い結果となっている。引き続き、歯科健診を促進していく必要があると考える。</li> <li>・40歳で、補助器具を使用している人は、庄原市51.7%（県49.5%）、広島県より高い。普及啓発活動の成果が出てきていると考える。60歳で、補助器具を使用している人は、庄原市43.4%（県49.5%）と、広島県より低い。引き続き、課題である補助器具の使用に向けた普及啓発活動を行っていく必要があると考える。</li> <li>・かかりつけ歯科医院がある人は、40歳で庄原市74.8%（県74.4%）、60歳で庄原市85.2%（県87.6%）と、40歳と60歳ともに広島県とほぼ同等である。課題である定期受診の達成に向けた普及啓発活動の成果が出てきていると考える。</li> <li>・8020を知っている人は、40歳で庄原市67.3%（県47.6%）、60歳で庄原市63.2%（県54.1%）と、ともに広島県より高く、8020運動が周知されつつあることが分かった。</li> <li>・庄原市では、無料の節目健診を実施しているが、「定期的な歯科健診を受けるには、どのような条件があれば、受診しやすいか」では、「無料または助成」が40歳32.5%、60歳34.1%と、2番目に多かった。よって、認知度が低いのではないかと考えられる。今後も引き続き市民への啓発が必要である。（庄原市は40歳及び60歳）</li> </ul>

(6) 参考

① 備北圏域の歯科保健に関する資源の状況

- ・人口10万対で見ると、三次市と庄原市の歯科医院数や歯科医師数には大きな差はないが、歯科衛生士数に大きな差がみられ、庄原市よりも三次市の方が多いたことが分かった。歯科衛生士は、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図るうえで重要な役割を果たしている。各市差で、庄原市よりも三次市の方が歯磨きや歯石除去を行っている人が多かったのは、歯科衛生士数の影響も考えられる。

備北圏域の歯科医院数・歯科医師数・就業歯科衛生士数

	三次市	庄原市	データソース
歯科医院数(2019年3月31日)	24 施設 (46.1)	18 施設 (51.5)	令和元年度 事業概要 広島県北部厚生環境事務所
歯科医師数(2016年)	35 人 (65.3)	24 人 (64.9)	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成28年(2016))
就業歯科衛生士数(2014年)	65 人 (121.2)	24 人 (64.9)	「衛生行政報告例」(平成26年(2014))

※( )は人口10万対

② 平成30年度市町の歯周病検診に係る調査結果

出典：広島県ホームページ

- ・歯周病検診県内市町受診率(%)：三次市17.41%、庄原市21.1%、全体平均7.1%  
三次市、庄原市ともに、全体平均に比べ、高い結果となっている。受診率向上に向けて、各市で未受診者への再勧奨通知や歯科医師会による啓発等を行っており、その取組みの成果が出てきていると考える。
- ・県内市町一人平均現在歯数(本)：三次市26.25本、庄原市26.4本、全体平均26.7本  
三次市、庄原市ともに、全体平均とほぼ同等となっている。市町の歯周病検診に係る調査結果によると、歯周病予防には、2回以上の歯磨き、喫煙しない、かかりつけ歯科医療機関を持つ、歯周病検診受診等の歯科保健活動が有効であることから、歯数を増やしていくためにも、これらの活動を広くPRしていく必要がある。
- ・県内市町深い歯周ポケット割合(%)：三次市20.13%、庄原市10.28%、全体平均21.4%  
庄原市は全体平均よりも低いが、三次市はほぼ同等となっている。歯周ポケットが深くなると、その中で歯周病菌が繁殖しやすくなり、歯を支える土台である歯槽骨が溶け、最後には歯が抜け落ちてしまう。また、歯周病が悪化すると、糖尿病などといった病気を誘発するという多方面の関係が明らかになっている。歯周病を予防することが、様々な病気を防ぐことにもつながるため、今後も歯周病予防の推進に努めていく必要がある。

4 考察

(1) 歯科健診について

- ・歯科健診受診者は、未受診者に比べ、「毎日2回以上みがく人」「過去1年間に歯石除去を受けた人」「かかりつけ歯科医院がある人」等、約半数の項目で、有意に高かった。これは、受診の際に、セルフケアやプロフェッショナルケアの必要性等の知識を得られていることが影響していると考えられる。この結果から、歯科健診受診者は、歯のケアに関する意識が高く、セルフケアも実践していることがわかった。

しかし、備北地域の歯科健診受診者は、約5割と少なく、60歳は広島県より低い。また、過去1年間に歯石除去を受けた人は、60歳では5割弱と少なく、広島県より低い。このように、備北地域では、まだまだ受診行動には結びついていない人もいます。

アンケートの自由記載には、「身体の健康に比べるとおろそかになりがち」と回答があるように、歯

の健康に対する意識の低さも未受診の要因になっていると考えられる。よって、引き続き、健診を受けるメリットや必要性を伝え、若年期からの歯科健診を促し、予防に努めていく必要がある。

- ・定期的な歯科健診は正しいセルフケア方法を学んだり、歯を失う原因である歯周病の早期発見の機会となる。歯周病を予防することで、糖尿病などの全身疾患の予防、ひいては健康寿命の延伸にもつながる。各市、無料の節目健診を実施しているが、今回のアンケートで、定期健診を受けやすくする条件として、「無料・助成」という回答がもっとも多かったことから、無料節目健診の認知度が低いことが伺える。今後も引き続き市民への啓発を行い、節目健診を契機に、定期的な歯科健診や歯周病検診の受診に結びつけていく必要がある。

## (2) セルフケアについて

- ・8020を知っている人は、6～7割と広島県より高く、8020運動が周知されつつあることが分かった。また、60歳では、歯が全部ある人ほど「何でも噛んで食べられ」、毎日2回以上みがく人ほど「歯が全部あり」、「歯科健診を受けたり」、「補助用具を使用する」等のケアを行っている。このことから、歯科健診等のプロフェッショナルケアと合わせてセルフケアを行うことで、歯の健康やQOLの向上につながっていることがわかった。

しかし一方で、毎日2回以上みがく人は7割弱、補助用具を使用している人は5割と、広島県より低い。8020運動の周知等により、知識が向上し、意識は高くなりつつあるが、セルフケアの実践はまだ不十分な状況である。

意識して行動する人ほど、歯がより多く残っていることから、歯が全部ある人を増やすためには、歯周病予防に有効な2回以上の歯磨き、補助用具を使用した歯の清掃等のセルフケアや喫煙等の歯科と全身疾患の関連、オーラルフレイルについての普及啓発を一層推進していく必要がある。

## (3) 男性への働きかけについて

- ・男性は、女性に比べ、「過去1年間に歯科健診を受けた人」「歯間ブラシ等の補助用具を使用している人」「かかりつけ歯科医院がある人」等、ほとんどの項目で低く、歯の健康に対する意識が低いため、男性への啓発が必要である。

## (4) 人材確保について

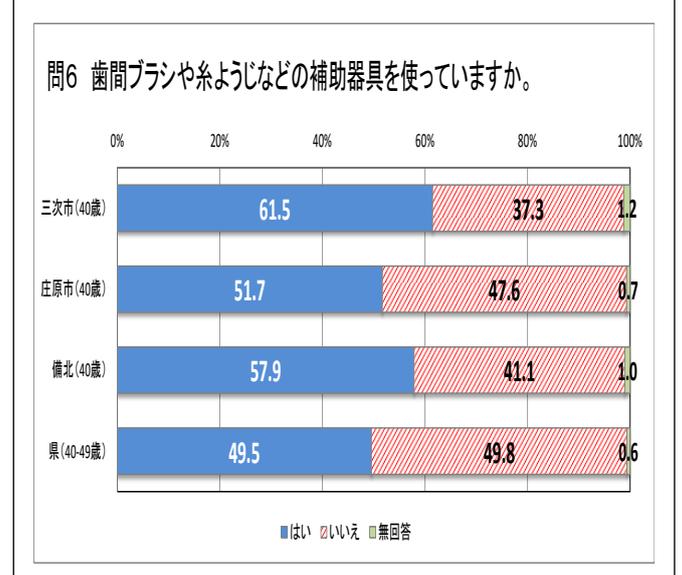
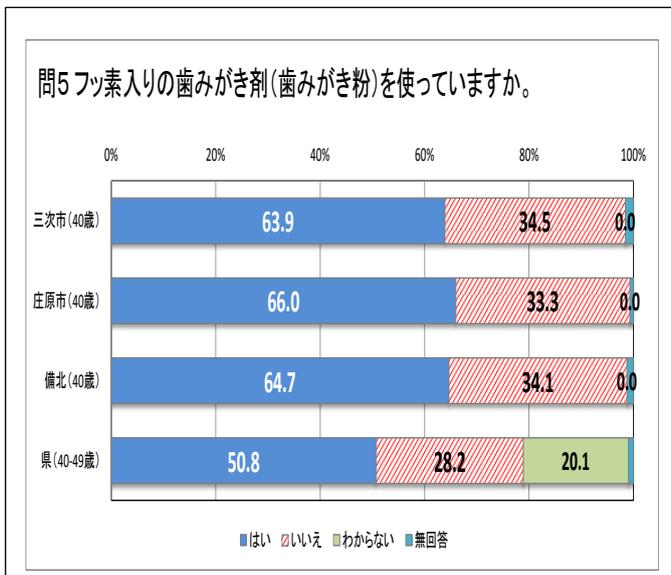
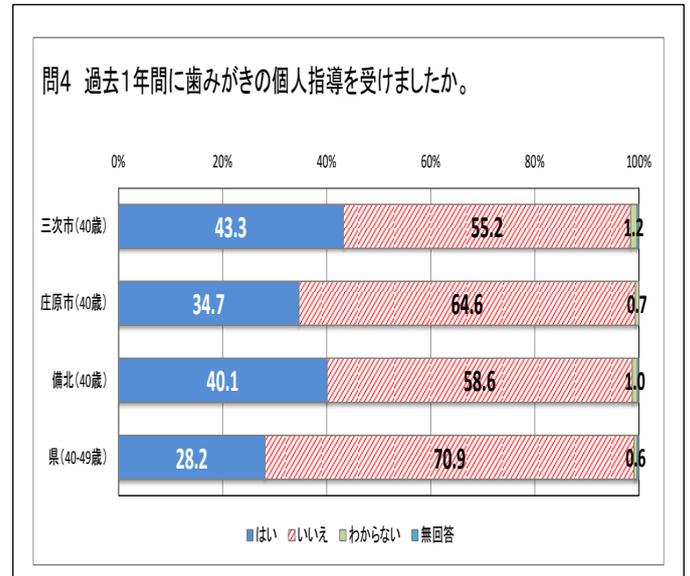
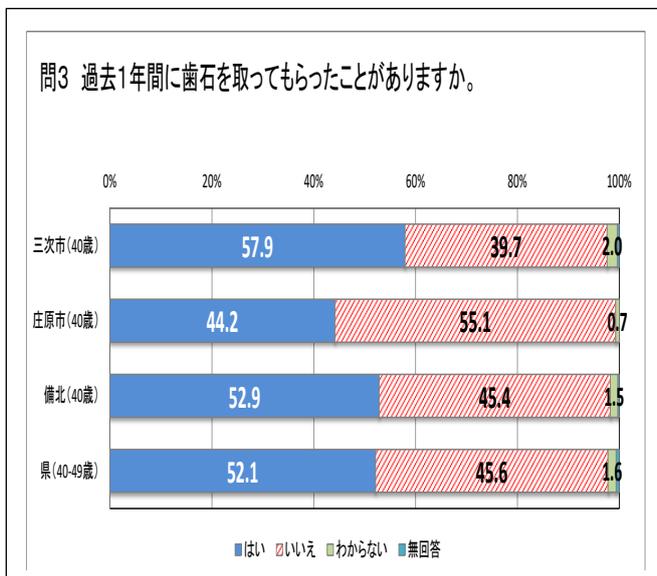
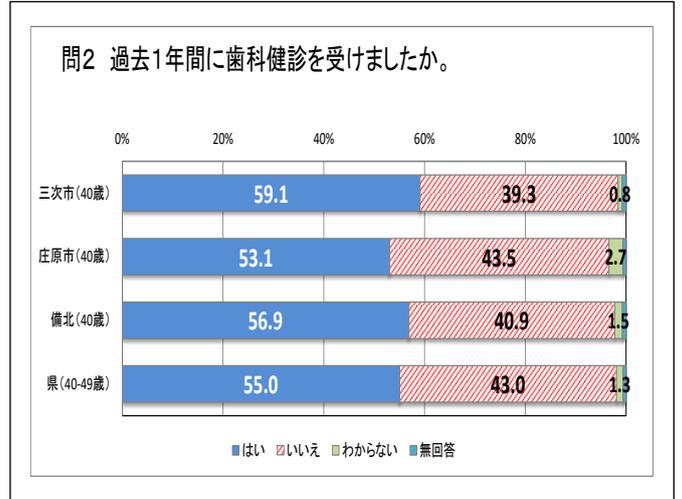
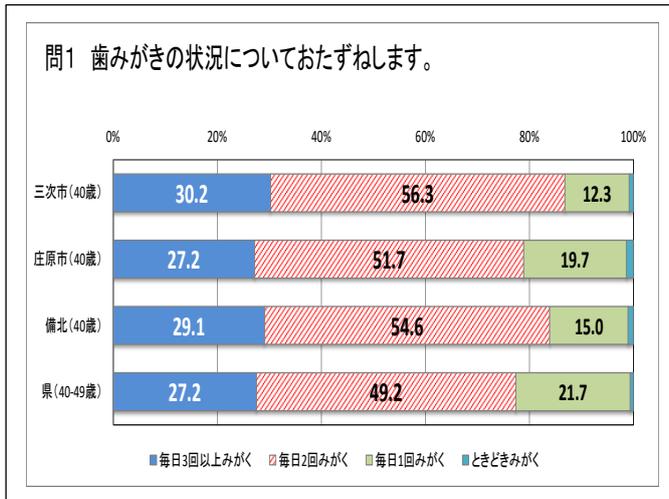
- ・三次市と庄原市の歯科医院数や歯科医師数には大きな差はないが、歯科衛生士数に大きな差がみられ、庄原市よりも三次市の方が多い。各市差で、庄原市よりも三次市の方が歯磨きや歯石除去を行っている人が多かったのは、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図るうえで重要な役割を果たしている歯科衛生士数の影響も考えられる。

### <参考文献>

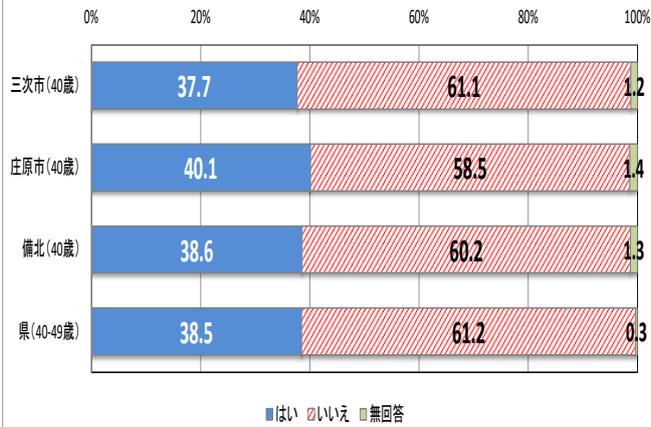
- ・健康ひろしま 21（第2次）改訂版（平成30年3月）
- ・健康ひろしま 21 備北二次保健医療圏域（平成30年3月）
- ・第2次広島県歯と口腔の健康づくり推進計画（平成30年3月）
- ・三次市健康づくり推進計画（平成30年2月）
- ・第3次庄原市健康づくり計画（平成29年3月）
- ・歯科衛生士の人材確保・復職支援等に関する検討会 報告書（平成29年6月）
- ・「オーラルフレイルの予防」健康づくり（令和元年12月）

## 歯と口の健康アンケート調査の結果グラフについて（40歳）

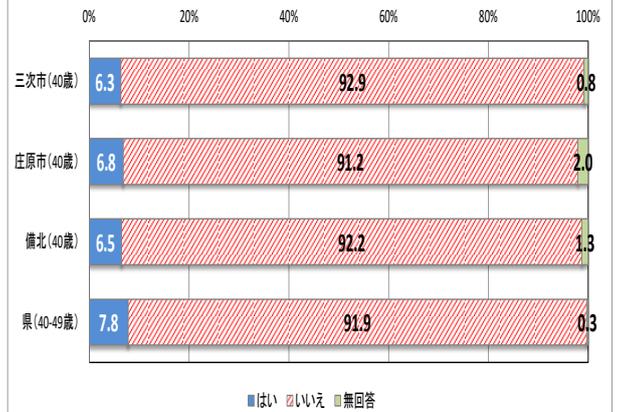
調査結果について（比較に用いた広島県（40～49歳）のデータは、「平成28年度広島県歯科保健実態調査」から抜粋。）



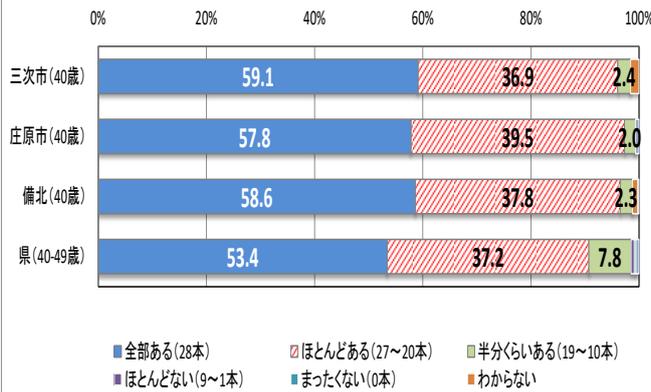
問7 口を大きく開け閉めた時、あごの音がしますか。



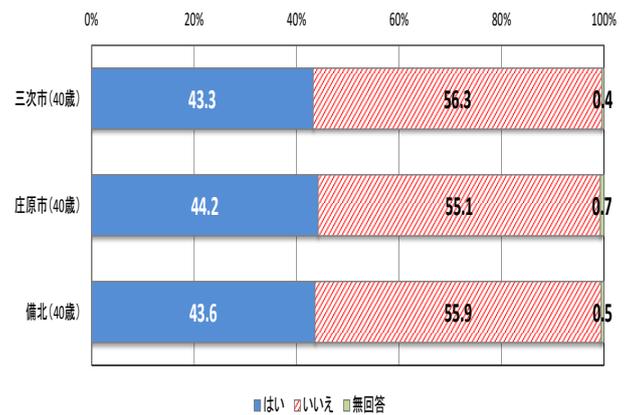
問8 口を大きく開け閉めた時、あごの痛みがありますか。



問9 現在、歯の数はどのくらいありますか。



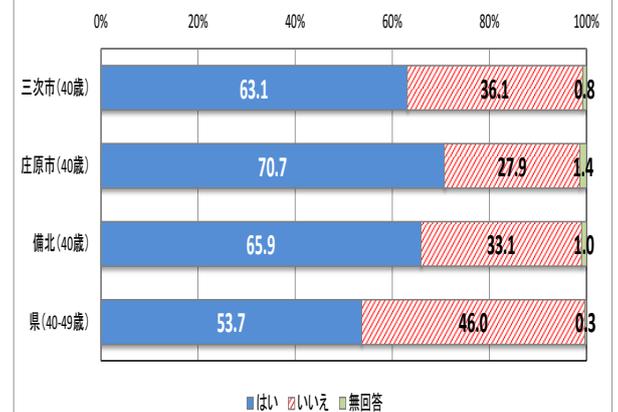
問10 現在、あなたが歯や口の状態で気になることがありますか。



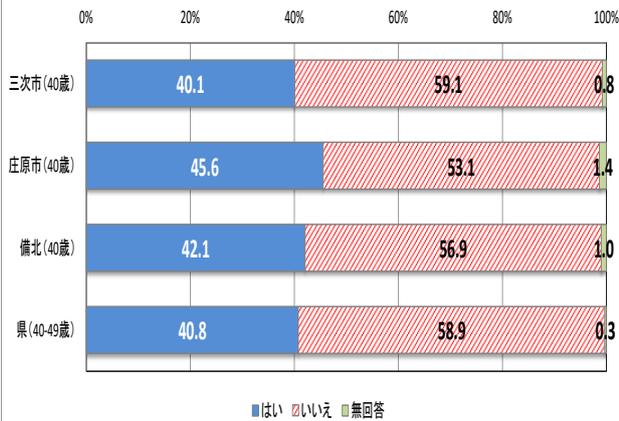
問11 かかりつけ歯科医院がありますか。



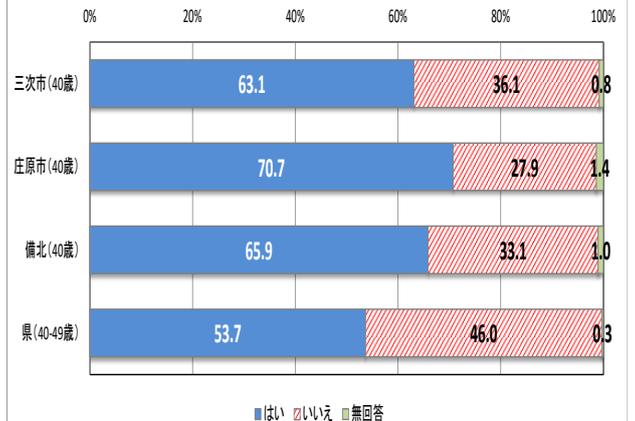
問12 歯周病がどのような病気か知っていますか。



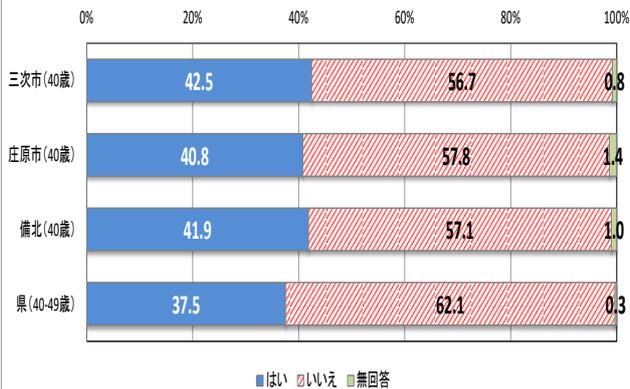
問13 歯周病と糖尿病に関係があることを知っていますか。



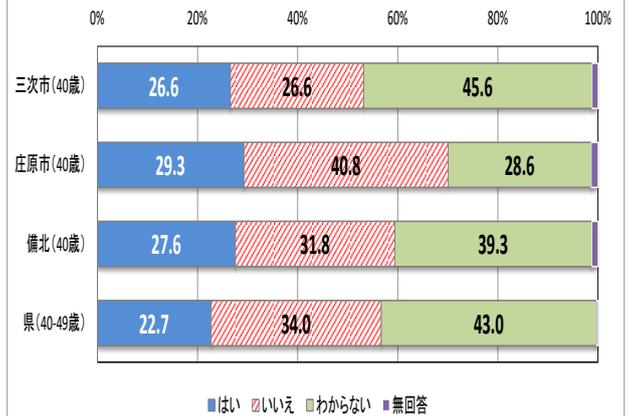
問14 喫煙が歯周病に影響を与えることを知っていますか。



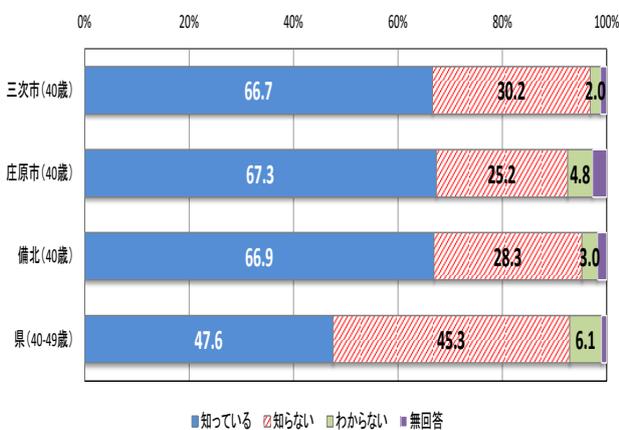
問15 口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防できることを知っていますか。



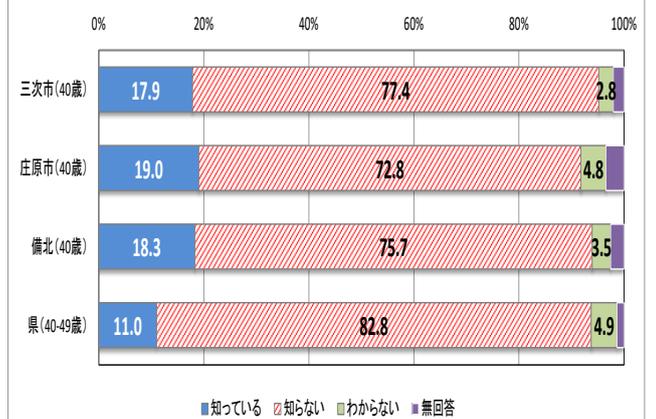
問16 ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。



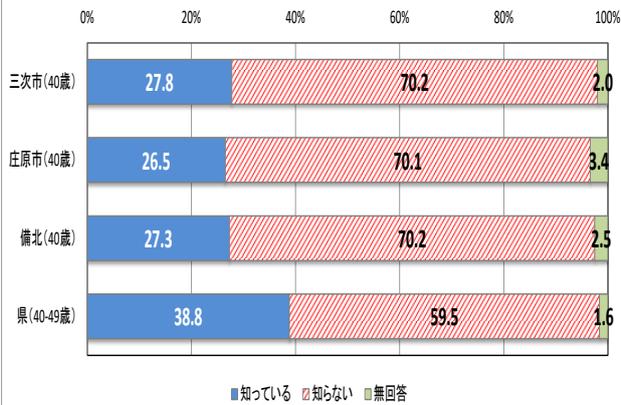
問17-1 8020(ハチマルニイマル)運動を知っていますか。



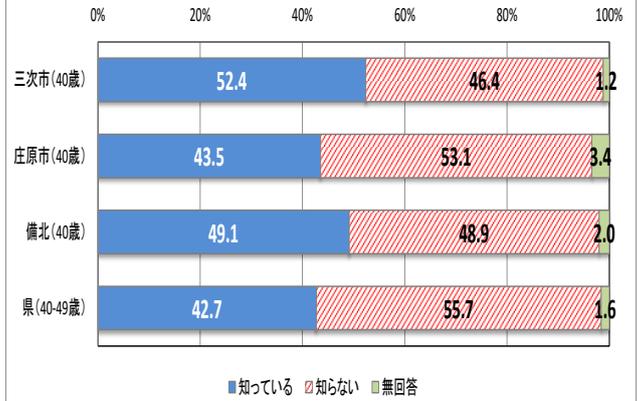
問17-2 噛ミング30(カミングサンマル)運動を知っていますか。



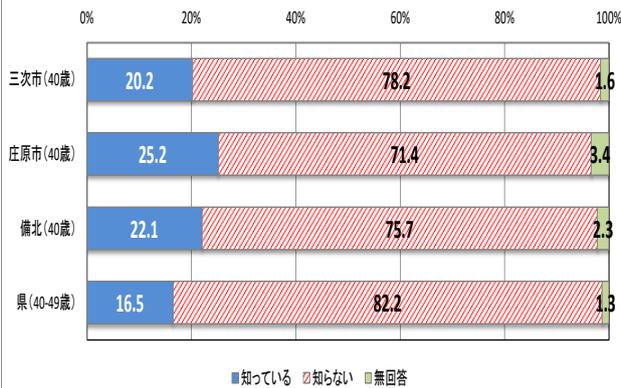
問17-3 歯と口の健康週間(6月4日からの1週間)を知っていますか。



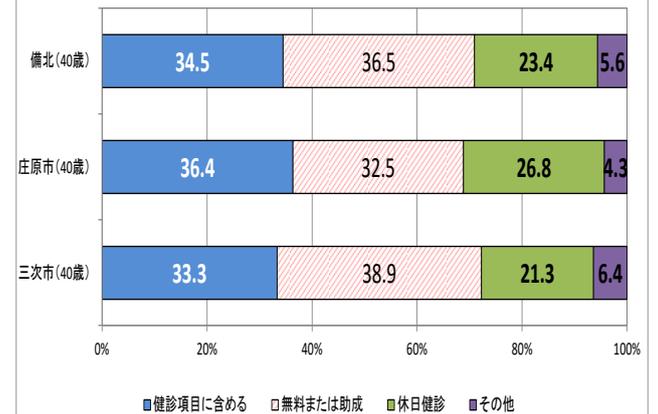
問17-4 いい歯の日(11月8日)を知っていますか。



問17-5 いい歯の週間(11月8日からの1週間)を知っていますか。



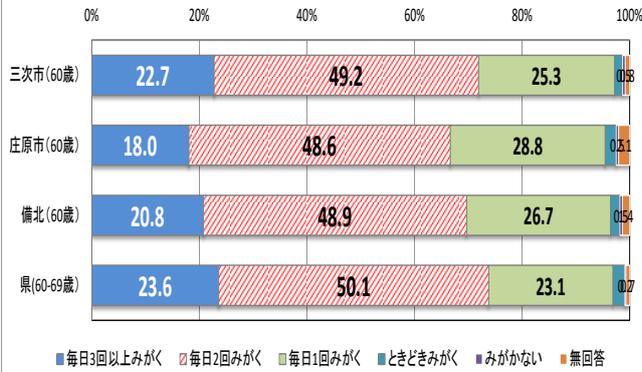
問18 定期的な歯科健診(年に1~2回)を受けるには、  
どのような条件があれば受診しやすいですか。



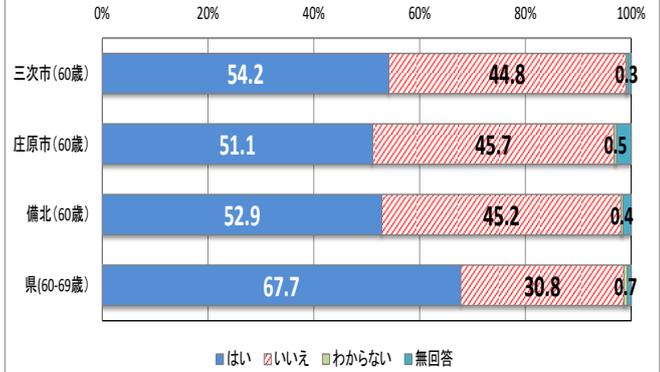
## 歯と口の健康アンケート調査結果のグラフ（60歳）

調査結果について（比較に用いた広島県（60～69歳）のデータは、「平成28年度広島県歯科保健実態調査」から抜粋。

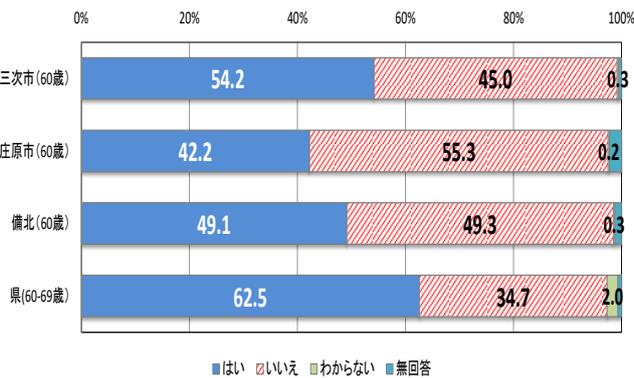
問1 歯みがきの状況についておたずねします。



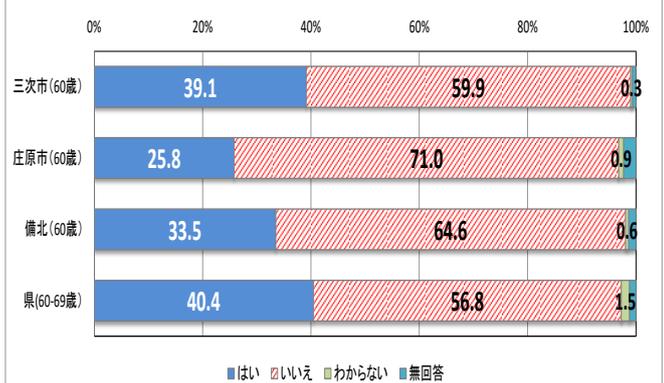
問2 過去1年間に歯科健診を受けましたか。



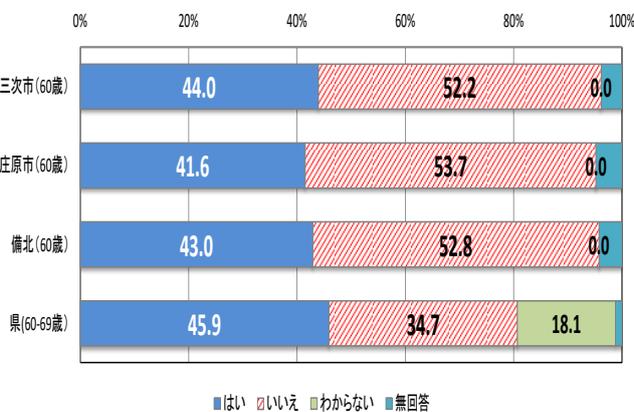
問3 過去1年間に歯石を取ってもらったことがありますか。



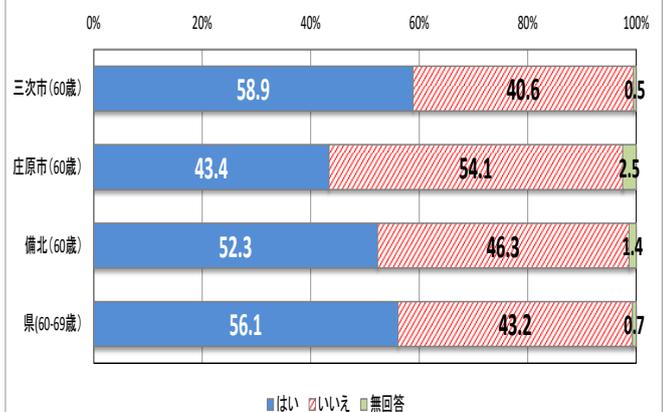
問4 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか。



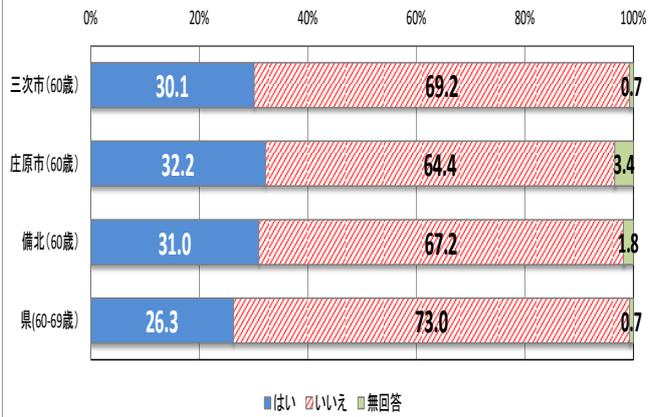
問5 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。



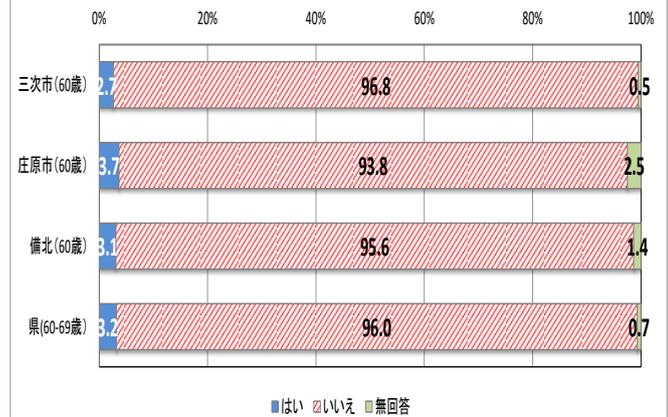
問6 歯間ブラシや糸ようじなどの補助器具を使っていますか。



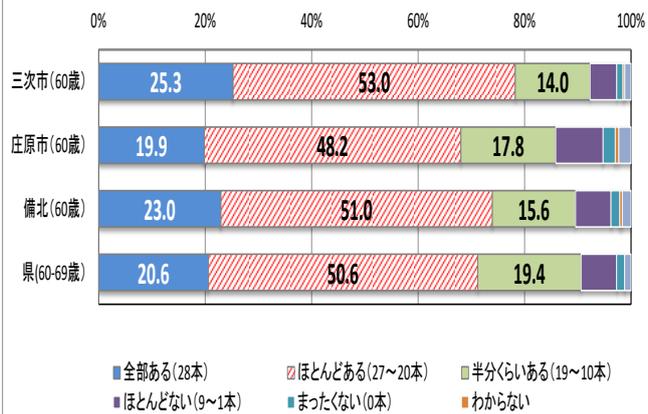
問7 口を大きく開け閉めした時あごの音がしますか。



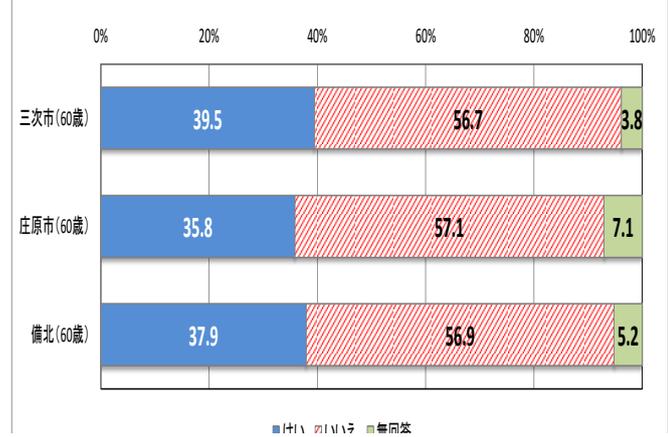
問8 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。



問9 現在、歯の数はどのくらいありますか。



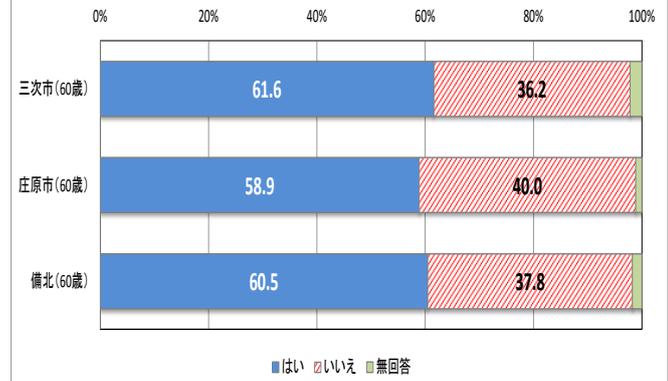
問10 現在、あなたが歯や口の状態で気になることがありますか。



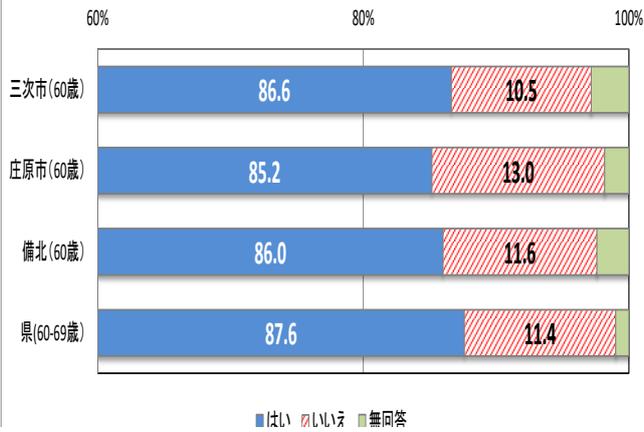
問11 何でも噛んで食べられますか。



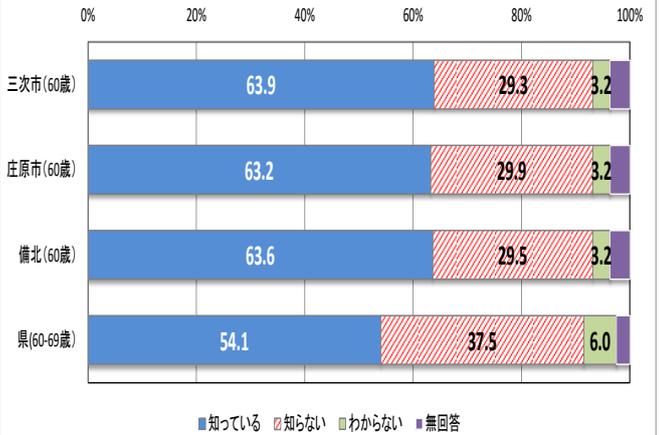
問12 過去1年間に、歯科医院を受診されましたか。



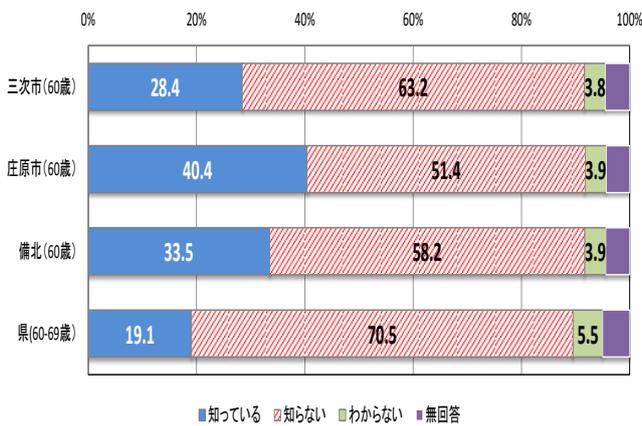
問13 かかりつけ歯科医院がありますか。



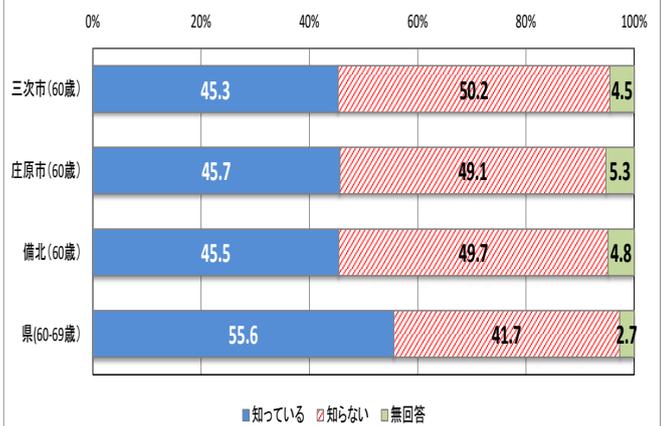
問14-1 8020(ハチマルニイマル)運動を知っていますか。



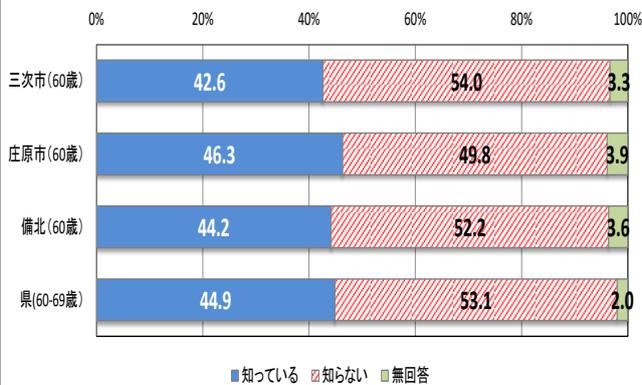
問14-2 噛ミン30(カミングサンマル)運動を知っていますか。



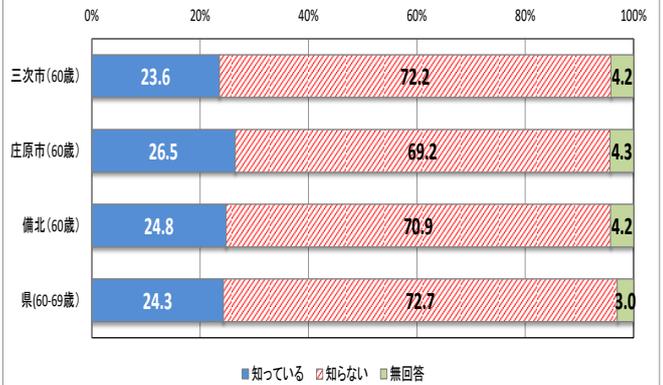
問14-3 歯と口の健康週間(6月4日からの1週間)を知っていますか。

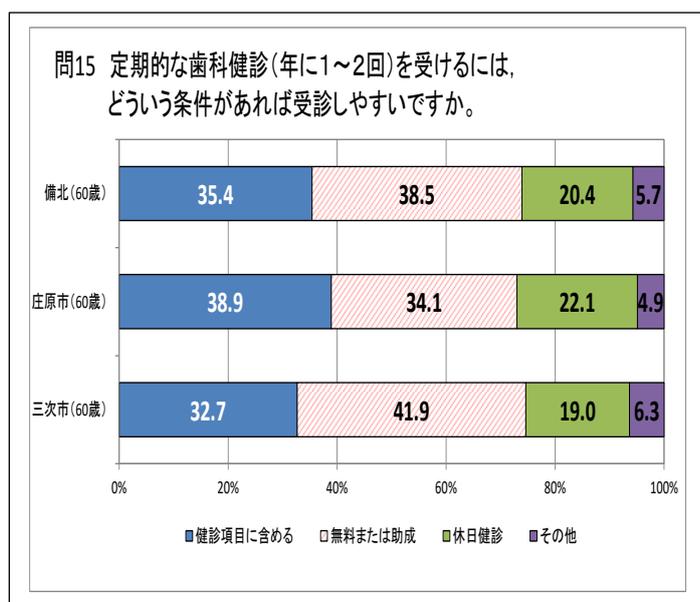


問14-4 いい歯の日(11月8日)を知っていますか。



問14-5 いい歯の週間(11月8日からの1週間)を知っていますか。





<40歳の自由記載での主な回答内容>

**歯と口の状態で気になること**

- ・ 歯周病, 歯槽膿漏
- ・ 歯茎に関すること (歯茎の腫れ, 隙間, 知覚過敏等)
- ・ 歯石がつくこと
- ・ 噛み合わせ, 歯並びが悪いこと
- ・ 治療に関すること (虫歯等)
- ・ 口臭

**定期的な歯科健診を受けるための条件**

- ・ 無料の歯科健診
- ・ 案内通知 (かかりつけ医, 市から)
- ・ 時間短縮 (治療期間, 待ち時間等)
- ・ 20時までの時間延長
- ・ 歯科医院での託児所やプレイルーム設置
- ・ ネット予約可能

**将来の歯と口の健康に関する不安**

- ・ 歯の喪失, 入れ歯になること
- ・ 歯周病, 歯槽膿漏, 歯茎に関すること
- ・ 歯の噛み合わせに関すること

### **歯と口の健康に関する意見や要望**

- ・どうしても身体の健康に比べると、おろそかになりがちなので、歯科保健への関心を高められるような周知を行ってほしい。
- ・病気と口腔衛生とのかかわりについて無知であったため、広く周知してほしい。
- ・定期健診の健診項目に、歯科健診を入れてほしい。
- ・平日 19 時まで仕事をしている人が受診しやすいようにしてほしい。
- ・歯茎の維持の方法と歯ブラシの選び方を教えてほしい。
- ・歯の健康についての講座を開催してほしい。

### **<60 歳の自由記載での主な回答内容>**

#### **歯と口の状態で気になること**

- ・歯周病，歯槽膿漏
- ・治療に関すること（虫歯，義歯，治療前後のケア等）
- ・歯茎に関すること（歯茎の下がり，隙間，知覚過敏等）
- ・口臭

#### **定期的な歯科健診を受けるための条件**

- ・無料の歯科健診
- ・案内通知（かかりつけ医，市から）
- ・時間短縮（治療期間，待ち時間等）
- ・20 時までの時間延長
- ・歯科衛生士の確保

#### **将来の歯と口の健康に関する不安**

- ・歯科と全身疾患の関連に関すること（心疾患，肺炎等）
- ・歯の喪失，入れ歯になること
- ・歯周病，歯槽膿漏，歯茎に関すること
- ・歯科に通えなくなること（車の運転ができなくなった時，高額な治療費）

#### **歯と口の健康に関する意見や要望**

- ・歯科保健への関心を高められるような周知を行ってほしい。
- ・定期健診の健診項目に，歯科健診を入れてほしい。
- ・身近な場所で歯科健診を受けたい。（公民館等）
- ・幼少期から予防的指導を行ってほしい。（歯磨き習慣の習得）
- ・インプラントにも健康保険を適用してほしい。

## 歯と口の健康アンケート調査票 40 歳

あてはまる番号に○印をつけてください。

性別 1 男 2 女

住所 

1 旧三次市	2 君田町	3 布野町	4 作木町
5 吉舎町	6 三良坂町	7 三和町	8 甲奴町

1 旧庄原市内	2 西城町	3 東城町	
4 口和町	5 高野町	6 比和町	7 総領町

問1 歯みがきの状況についておたずねします。

- 1 毎日3回以上みがく      2 毎日2回みがく      3 毎日1回みがく  
4 ときどきみがく      5 みがかない

問2 過去1年間に歯科健診を受けましたか。

- 1 はい      2 いいえ      3 わからない

問3 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

- 1 はい      2 いいえ      3 わからない

問4 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか。

- 1 はい      2 いいえ      3 わからない

問5 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。

- 1 はい      2 いいえ

問6 歯間ブラシや糸ようじなどの補助用具を使っていますか。

- 1 はい      2 いいえ

問7 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか。

- 1 はい      2 いいえ

問8 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。

- 1 はい      2 いいえ

問9 現在、歯の数はどのくらいありますか。（取りはずしのできる歯は数えません。）

- 1 全部ある（28本）      2 ほとんどある（27～20本）  
3 半分くらいある（19～10本）      4 ほとんどない（9～1本）  
5 まったくない（0本）      6 わからない

問10 現在、あなたの歯や口の状態で気になることがありますか。

- 1 はい      2 いいえ



「はい」と答えた方は、どんな内容ですか。

[ ]

(→裏面も御回答ください)

問 1 1 かかりつけの歯科医院がありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問 1 2 歯周病がどのような病気か知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問 1 3 歯周病と糖尿病に関係があることを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問 1 4 喫煙が歯周病に影響を与えることを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問 1 5 口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防することができることを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問 1 6 ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問 1 7 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

言 葉	回 答 欄		
	知っている	知らない	聞いたことはあるが 意味はわからない
8020（ハチマルニイマル）運動	1	2	3
噛ミング30（カミングサンマル）運動	1	2	3
歯と口の健康週間（6月4日からの一週間）	1	2	
いい歯の日（11月8日）	1	2	
いい歯の週間（11月8日からの一週間）	1	2	

問 1 8 定期的な歯科健診（年に1回～2回）を受けるには、どういう条件があれば受診しやすいですか。（あてはまる番号に全て○印をつけてください。）

- 1 一般定期健診や通院ドック等の健診項目に歯科健診が入っていれば受診しやすい。  
2 歯科健診料金が無料または助成があれば受診しやすい。  
3 休日の健診があれば受診しやすい。  
4 その他（具体的に記載をお願いします。）

→ { }

問 1 9 将来、歯と口の健康に関して不安なことがありましたらお書きください。

{ }

問 2 0 歯と口の健康に関して御意見、御要望等がありましたら御自由にお書きください。

{ }

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

## 歯と口の健康アンケート調査票 60歳

あてはまる番号に○印をつけてください。

性別 1 男 2 女

住所 

1 旧三次市	2 君田町	3 布野町	4 作木町
5 吉舎町	6 三良坂町	7 三和町	8 甲奴町

1 旧庄原市内	2 西城町	3 東城町	
4 口和町	5 高野町	6 比和町	7 総領町

問1 歯みがきの状況についておたずねします。

- 1 毎日3回以上みがく 2 毎日2回みがく 3 毎日1回みがく  
4 ときどきみがく 5 みがかない

問2 過去1年間に歯科検診を受けましたか。

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

問3 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

問4 過去1年間に 歯みがきの個人指導を受けましたか。

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

問5 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問6 歯間ブラシや糸ようじなどの補助用具を使っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問7 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか。

- 1 はい 2 いいえ

問8 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問9 現在、歯の数はどのくらいありますか。（取りはずしのできる歯は数えません。）

- 1 全部ある（28本） 2 ほとんどある（27～20本）  
3 半分くらいある（19～10本） 4 ほとんどない（9～1本）  
5 まったくない（0本） 6 わからない

問10 現在、あなたの歯や口の状態で気になることがありますか。

- 1 はい 2 いいえ



「はい」と答えた方は、どんな内容ですか。

{

(→裏面へ御回答ください)

問 1 1 何でも噛んで食べられますか。  
 1 はい 2 いいえ

問 1 2 過去 1 年間に、歯科医院を受診されましたか。  
 1 はい 2 いいえ

問 1 3 かかりつけの歯科医院がありますか。  
 1 はい 2 いいえ

問 1 4 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を 1 つ選んで○印をつけてください。

言 葉	回 答 欄		
	知っている	知らない	聞いたことはあるが意味がわからない
8020運動	1	2	3
噛ミング30運動	1	2	3
歯と口の健康週間（6月4日からの一週間）	1	2	
いい歯の日（11月8日）	1	2	
いい歯の週間（11月8日からの一週間）	1	2	

問 1 5 定期的な歯科検診（年に1回～2回）を受けるには、どういう条件があれば受診しやすいですか。（あてはまる番号に全て○印をつけてください。）  
 1 一般定期健診や通院ドック等の健診項目に歯科検診が入っていれば受診しやすい。  
 2 歯科検診料金が無料または助成があれば受診しやすい。  
 3 休日の検診があれば受診しやすい。  
 4 その他（具体的に記載をお願いします。）

→ [ ]

問 1 6 将来、歯と口の健康に関して不安なことがありましたらお書きください。

[ ]

問 1 7 歯と口の健康に関して御意見、御要望等がありましたらご自由にお書きください。

[ ]

御協力をありがとうございました。